

日本におけるジオツーリズムの可能性 - 山の自然学クラブの活動から

Possibility of Geo-tourism in Japan

目代 邦康 [1]

Kuniyasu Mokudai[1]

[1] 産総研・地質標本館

[1] GSJ, AIST

<http://staff.aist.go.jp/k-mokudai/>

山の自然学クラブは、その前身は1993年より活動を開始した、2001年に設立されたNPO法人である。この団体では、ほぼ毎月1回室内で自然学講座を、年数回現地講座を実施している。会員は約400名である。現地講座では、毎回10名以上の参加がある。この現地講座では、実物を見ながら、地生態学的な、地質 - 地形 - 植物 - 動物の関係について学ぶことができる。知的好奇心の強い中高年参加者は、ただ動植物や岩石の名前を覚えるだけの自然観察会では満足しない。その事象の背後にある歴史性や関連性などについて知識を求めている。さらに自らの気づきを促すような解説が求められている。